# 也几万分了如冷的自己的则是

この表は『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2020』をもとに作成しました。あくまでも目安のひとつとしてご活用ください。実際の治療では年齢や症状に よって使用されない薬があるなど、必ずしも表と当てはまらない場合がありますので、薬の使用に関しては必ず医師に相談してください。

## 主な長期管理薬(コントローラー)

気管支の状態を良くし、発作がおこらないように予防的に使う薬

## 主な発作治療薬(リリーバー)

・発作がおきたときに使う薬



## 小児ぜん息の長期管理プラン



250 BIS ※小児への保険適用範囲を超える。 (『小児気管支喘息治療·管理ガイドライン2020』より改変)

「最も強い治療(治療ステップ4)」を行っても、症状が消えない6歳以上のお子さんには、皮膚の下に注射す る(皮下注射)タイプの薬(生物学的製剤)が使えるようになりました。お子さんの状態や検査結果によって は使えない場合もあります。この薬を使用する場合は、子どものぜん息に詳しい医師の下で治療を受ける べきです。

200

BUD

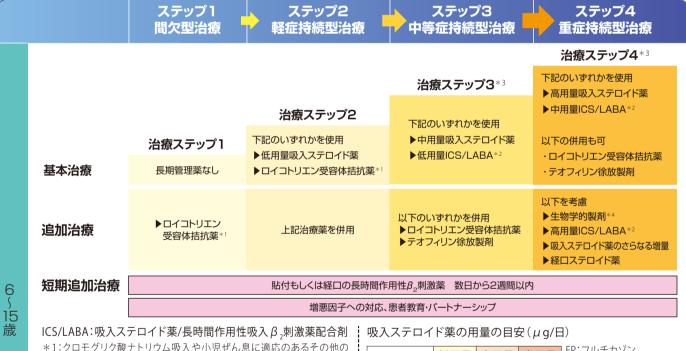
400

500

800

1,000

主な薬剤: 抗IgE抗体製剤、抗IL-5抗体製剤、抗IL-4/IL-13受容体抗体製剤



FP、BDP、CIC

BUD

\*1:クロモグリク酸ナトリウム吸入や小児ぜん息に適応のあるその他の

経口抗アレルギー薬 (Th2サイトカイン阻害薬など)を含む。 \*2:ICS/LABAは5歳以上から保険適用がある。ICS/LABAの使用に際して は原則として他の長時間作用性β,刺激薬は中止する

\*4:生物学的製剤(抗IgE抗体、抗IL-5抗体、抗IL-4/IL-13受容体抗体)は

中用量

200/100

SFC 100 DP 1回1吸入、1日2回

200/20

\*3:治療ステップ3以降の治療でコントロール困難な場合は小児のぜん 息治療に精通した医師の下での治療が望ましい。 各薬剤の適用の条件があるので注意する。 吸入ステロイド薬/長時間作用性吸入 β.刺激薬配合剤の用量の目安 (μα/日)

 FFC 50エアゾール 1回1吸入、1日2回
 FFC 50エアゾール 1回2吸入、1日2回
 中用量FFC +中用量吸入ステロイド薬 あるいは FFC 125エアゾール\*\* 1回2吸入、1日2回

400~500/100

中用量SFC+中用量吸入ステロイド薬

あるいは SFC 250 DPI\*2 1回1吸入、1日2回

400~500/20

	BIS	250	500	1,000	1013・クケノニト 放入窓場				
※小児への保険適用範囲を超える。									

200

400

100

200

FP:フルチカゾン SLM:サルメテロール SFC:サルメテロール/フルチカゾン配合剤 FM:ホルモテロール FFC:ホルモテロール/フルチカゾン配合剤 DPI:ドライパウダー定量吸入器

SFC 50 μgエアゾール製剤:1噴霧中 FP 50 μg/SLM 25 μg、100 μg DPI製剤:1吸入中 FP 100μg/SLM 50μg、250μg DPI製剤:1吸入中 FP 250μg/SLM 50μg FFC 50μgエアゾール製剤:1噴霧中 FP 50μg/FM 5μg、125μgエアゾール製剤:1噴 霧中 FP 125 μg/FM 5 μg

400\*

800

(『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2020』より改変)

BDP:ベクロメタゾン

CIC:シクレソニド

BUD:ブデソニド

### その他の長期管理薬

学的製剤とは

薬の役割	気管支がせまくなりにくくする薬 (気管支の炎症をおさえる薬と一緒に使う)		アレルギー反応をやわらげる薬					
薬の種類	長時間作用性β₂刺激薬	テオフィリン徐放製剤	化学伝達物質遊離抑制薬	Th2サイトカイン阻害薬	ヒスタミンH1受容体拮抗薬			
効 能	交感神経を刺激して、気管支を広げる。 12時間以上効果が持続する( <mark>短期追加治療薬。単剤使用はせず、</mark> 吸入ステロイド薬と併用することが基本)。	ゆっくり溶ける作用時間 の長い薬で、気管支を広 げる。	気管支の収縮を引き起こす化学伝達物質 がマスト細胞から放出されるのをおさえる。	アレルギー炎症をおこす 物質(サイトカイン)の産 生をおさえる。	マスト細胞からの化学伝達物質の放出をおさえる作用にあわせて、ヒスタミンの働きをおさえる効果がある。			
用法	吸入·貼付	経口	経口など	経口	経口			
商品名	■セレベント ■ホクナリン	■テオロング	■リザベン ■アレギサール ■ペミラストン	■アイピーディ	■ゼスラン ■ニポラジン			

用量

FP/SLM

使用例

FP/FM

低用量

100/50

1回1吸入、1日2回

100/10\*1

CIC:シクレソニド

BUD:ブデソニド

BIS:ブデソニド吸入懸濁液

●薬の使用に関しては、必ず医師に相談しましょう。

- ●薬の副作用については、グループとしてまとめた薬の主な副作用を掲載しています。必ずしも個々の薬の副作用を示すものではありません。
- ●医薬品情報は日々更新されております。必要に応じて薬の添付文書や、製造販売元などのwebサイトで最新情報を確認しましょう。
- ●上記以外にジェネリック医薬品が処方されることもあります。

## 正しい吸入方法を身につけましょう!

吸入療法はぜん息の長期管理と急性発作治療に不可欠です。吸入療法を効果的に実施するためには、適切な吸入方法の選択と吸入手技の習得が必要です。 医師と相談して、子どもに合った吸入器とスペーサーを使用し、正しい吸入方法を身につけましょう。

ネブライザーを使う場合 詳しくは吸入実践テキストP18~19ページを参照してください。

マウスピースタイプ

入液を入れる 1回分の吸入液を取り出し、よく振って薬



マウスピースをくわえる ネブライザーのスイッチを入れ、薬の噴射



3 薬を吸う ゆっくり呼吸を行いながら、口呼吸で薬を吸



口呼吸の確認は、薄い紙を鼻の下に当てて 行います。



吸入中は、だ液がネブライザーの中に逆流し ないよう、ときどき、ティッシュなどにはきだ



4 うがいをする

吸入後は、口に残った薬を洗い流すため、 うがいをします。うがいができない場合は、 水を飲むのもよいでしょう。



マウスピースを口でくわえられなかったり、だ液が出てしまう子どもには、マスクを使用しましょう。

## 1回分の吸入液を取り出し、よく振って薬

を混ぜます。 薬をネブライザーのボトルに入れます。



マスクを着ける ネブライザーのスイッチを入れ、薬の噴

射を確認してから、マスクをしっかりと顔 に密着させます。



薬を吸う 吸入中は、マスクが顔に密着するように注



ゆっくりと安静な呼吸を行いながら薬を吸 います。 泣き出さないようこころがけます。



4 顔をふく

吸入終了後、タオルなどで顔をふきます。



うがいをする

吸入後は、口に残った薬を洗い流すため、 うがいをします。うがいができない場合は、 水を飲むのもよいでしょう。



### MDI+スペーサーを使う場合 詳しくは吸入実践テキストP20~21ページを参照してください。

及入器を着ける

吸入器をよく振ってからキャップを外し、 スペーサーにしっかりと取り付けます。



薬を噴射する

吸入器、スペーサー、マウスピースの向きを 合わせてセットします。



薬を吸う

マウスピースをくわえ、1度にゆっくりと息を吸い こみます。薬を吸うときは、姿勢をよくしましょう。



慣れてきたら、子どもが一人で吸入できるよ うにしましょう。



4 息を止める

3秒程度息を止めましょう。



うがいをする

吸入後は、口に残った薬を洗い流すためにう がいをします。うがいができない場合は、水 を飲むのもよいでしょう。



マスクタイプ

うまく息を止めることができない子どもは、マスクタイプを使用しましょう。

吸入器を着ける 吸入器をよく振ってからキャップを外し、



薬を噴射する

吸入器、スペーサー、マスクの向きを合わせて セットします。そして、薬を1回噴射(1プッ シュ)します。



薬を吸う

マスクを口にあて、ゆっくりと普通に呼吸をしながら、薬 を吸いこみます。薬を吸うときは、姿勢をよくしましょう。 そうすると、自然にスペーサーは水平になります。



5呼吸ぐらいでスペーサー内の薬を吸いこみ ます。最後に息をはきだします。



うがいをする



吸入後は、口に残った薬を洗い流すために うがいをします。うがいができない場合は、 水を飲むのもよいでしょう。



### DPIタービュヘイラーを使う場合 詳しくは吸入実践テキストP22~23ページを参照してください。

### 回転グリップをまわす

キャップを外し、吸入器をまっすぐに立て、 次に時計まわりに「カチッ」と音がするまで 回転グリップを反時計まわりに止まるまでま 戻します。 わします。





吸入器に息を吹きかけないように、大きく息 をはきます。

息をはく



薬を吸う 吸入器を口にくわえて、思いっきりスーッと

深く吸いこみます。

詳しくは吸入実践テキストP24~25ページを参照してください。

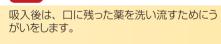


息をはく

吸入器に息を吹きかけないようにゆっくりと 息をはき出します。



うがいをする





片手でカバーを持ち、もう片方の手の親指を

グリップにあて、グリップが止まるところまで

まわします。最後に「カチリ」と音がします。

4

## DPIディスカスを使う場合

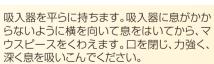


グリップのところまで押し付けてください。

「カチリ」と音がします。

マウスピースを自分に向けて持ち、レバーを





吸入器から口を離し、3秒程度息を止めま しょう。

4 息を止める

ゆっくりと息をはきます。

グリップに親指をあてて、「カチリ」と音がする ところまでまわして戻し、カバーをとじてくだ さい。レバーも一緒にもとの位置に戻ります。



うがいをします。

吸入後は、口に残った薬を洗い流すために

6 うがいをする



















